

弟子屈町地域公共交通活性化協議会

平成20年3月10日設置



概要

摩周湖・屈斜路湖などの観光資源に恵まれた弟子屈町は、平成20年度に「弟子屈町地域公共交通総合連携計画」を策定、同時に法定協議会を設置し、公共交通活性化と観光交通体系構築との一体的な取り組みを推進、「弟子屈2daysエコパスポート」事業の実施により2次交通の充実が図られ、一定の成果を収めている。しかし生活交通という観点からみると、一般路線バスの利用者数は減少が続いており、今後の高齢社会を見据えると、生活の足となる公共交通を維持確保していく必要性は非常に高い。このため、既存バス路線等の公共交通体系を見直し、利便性の向上を図ることによって利用者数の減少に歯止めをかけ、将来にわたって持続可能な公共交通体系として再構築することを目的とした。

○地域公共交通の現況

- ・JR釧網本線(川湯温泉駅、美留和駅、摩周駅、南弟子屈駅)
- ・阿寒バス(株)(町内4路線、うちスクール混乗1路線)
- ・スクールバス(6路線)

○地域公共交通の課題

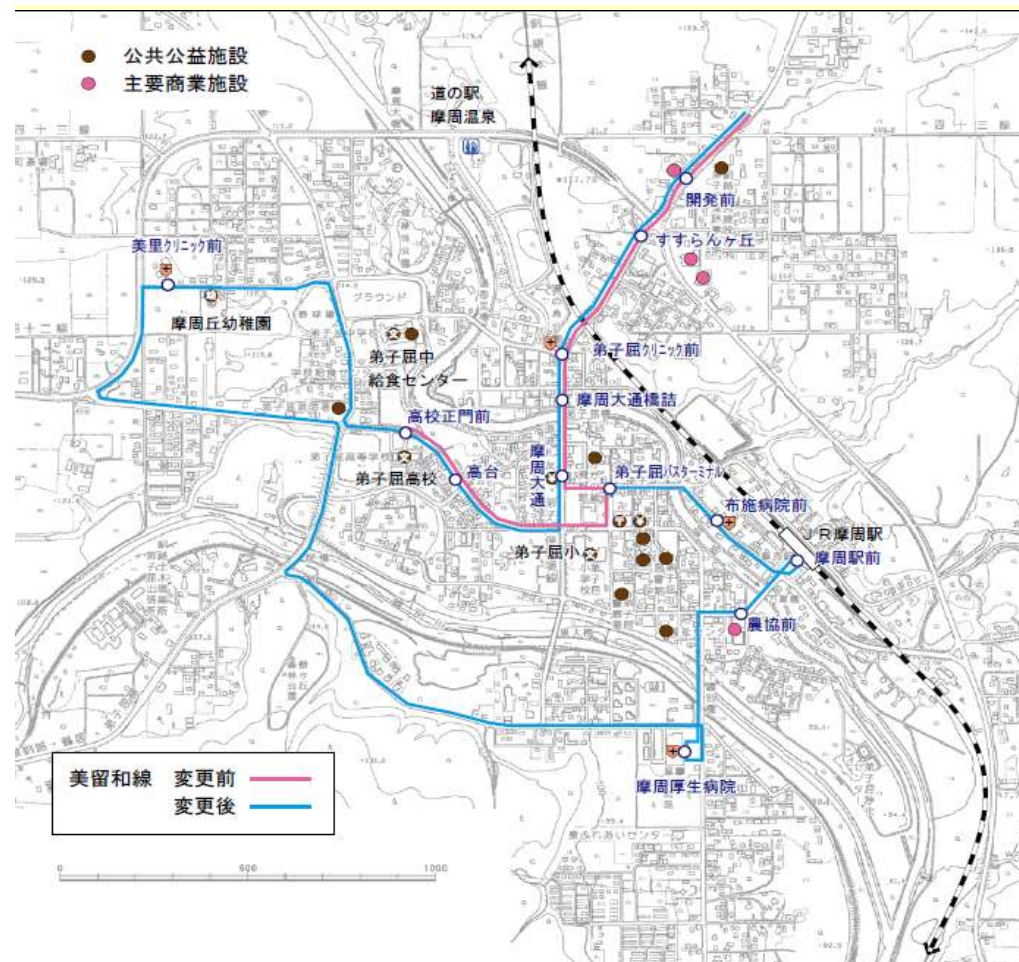
- ・運行形態、ダイヤの見直し等、路線の特性に応じた再検討
- ・収益性と利用の増大などを考慮した料金体系の再検討
- ・路線バスが走っていないエリアも多く、将来を見据えた交通確保策

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・交通ニーズ調査
- ・生活交通ネットワーク計画検討
- ・路線バス「美留和線」に係る地域内フィーダー系統検討

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 12月3日 第2回協議会を開催
- ・地域内フィーダー及び調査事業の実施に関する計画
- 3月13日 協議会(生活交通分科会)を開催
- ・生活交通ネットワーク計画素案検討
- ・路線バス「美留和線」に係る地域内フィーダー系統の検討



弟子屈町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

- ①弟子屈町生活交通ネットワーク計画素案の検討
・現況交通実態調査や交通ニーズ把握調査により課題を整理し、将来ビジョンの検討を行った。
- ②路線バス「美留和線」に係る地域内フィーダー系統の検討
・将来ビジョンに沿った事業展開として、利用者の減少が著しいバス路線「美留和線」の路線変更の検討を行った。

●調査事業実施の適切性

調査事業は適切に実施され、平成25年4月より地域内フィーダー系統計画に基づいた路線の運行を開始している。

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

【補助対象事業名】

地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費)

【事業内容】

弟子屈町生活交通ネットワーク計画において地域内フィーダー系統として位置付けられる町内路線バス「美留和線」に対し補助を申請

【実施時期】

平成25年4月1日より運行開始

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点について、アドバイスする。

・本調査事業の主な対象とした美留和線以外の路線についても、必要に応じて検討を進めるとともに、将来的な持続可能性にも配慮した運賃及び広告収入のあり方並びにそれらを踏まえた自治体及び事業者との間の費用分担のあり方についても検討されたい。